

限られた時間を大切に

新年明けましておめでとうございます、とあいさつを交わしてから早一ヶ月。時が過ぎるのは早いもので、年々早さが増しているような気がします。小学生の頃は一日、一週間がとても長く感じました。夏休みなんてずっと続くような気すらしましたが、今は一ヶ月はあつという間です。

中学生の頃、筒井康隆著の「急流」という小説を読んだことがあります。これは時が過ぎるのが「早い」というより「速い」をテーマにした短編のSF小説で、時間の経過が加速していくという異変を巡る社会を描いています。朝に家を出ても会社に着く頃にはもう夜になっている。新聞が時間の加速に間に合わず、週刊から月刊、そして最後は年刊になってしまう。無理にダイヤを守ろうとして超スピードで運行する鉄道や、放送時間が短くなってもコマシヤルはカットできないのでコマシヤルだらけになるテレビ番組など、時間の加速に翻弄ほんろうされる人間たちが描かれています。最後には時間が滝になつて流れ落ちてしまい、時間が無くなつてしまったというオチで終わります。

当時はただの笑い話と捉えていましたが、今思うと著者の時に対する思いが感じられます。時は止まってくれない、常に水のごとく流れていくもの。だから貴重なものだということ。著者も時間の過ぎるのが年々早くなつ

ていくのを感じていたのかもしれませんが。光陰矢のごとし、時は金なり、歲月人を待たず、少年老い易く学成り難し。いつの時代でも時の流れ、時の大切さを表す言葉はたくさんあります。人はそのことをいつも忘れてしまうということでしょうか。

私も就任して早一年が経ちました。改めて早いと感じます。昨年末からの令和5年度の当初予算編成作業が佳境に入っています。自身が初めて一から編成作業に関わる予算です。真摯に取り組み、ていねいな説明を尽くしてまいります。

そして、今任期中に与えられた当初予算編成作業はあと三回。限られた時間を大切に過ごしたいと思います。

Mayor Column Vol.10

町長コラム

筆 おもむくままに

穴水町長 吉村 光輝

